

# 潮風を 感じながら

みちのく潮風トレイル全線開通

6月9日に全線開通した  
青森県八戸市から福島県相馬市までの太平洋沿岸  
約1000kmを結ぶ道「みちのく潮風トレイル」。  
自然の美しさと、笑顔に出会う道  
「みちのく潮風トレイル」を紹介します。



## Interview



体験村・たのはた  
ネットワーク  
楠田 拓郎理事長

みちのく潮風トレイルの全線開通で、田野畠村への観光客が増える事に期待しています。

歩いて景色を見るだけでももちろん楽しいですが、体験村・たのはたの体験プログラムを通じて、地域の人たちとの交流を楽しんではほしいと思います。

たとえば、机浜番屋群で休憩しながら、番屋ガイドやサッパ船アドベンチャーズで漁師から田野畠村の歴史を学ぶといった、みちのく潮風トレイルにプラスした、田野畠村独自の観光を提供していきたいと考えています。

村の皆さんにも、トレイルを歩いている人に声を掛けられたら、道案内や地域の紹介など、コミュニケーションをとってほしいと思います。そうすることで「田野畠村に来てよかった」と印象に残り、必ずまた来てくれます。それが、村の観光振興につながって行くと信じています。

みちのく潮風トレイルにプラスした  
村独自の観光を提供していきたい

# 青森県から福島県まで 太平洋沿岸約1000キロを結ぶ 国内最長のロングトレイル

「みちのく潮風トレイル」は、東日本大震災からの復興に向けて、平成23年から環境省が取り組んでいる「グリーン復興プロジェクト」の一環。青森、岩手、宮城、福島4県28市町村にまたがる国内最長のロングトレイルです。被災地域を歩く道でつなぐことで、震災の記憶をつなぎ、地域のにぎわいを生み出す事を目指しています。

## 国内最長のロングトレイル みちのく潮風トレイル

みちのく潮風トレイル最大の特長は、ダイナミックな海を中心とした、山や里などの美しい景観に富んだコース。歩きながら採れたての海の幸を味わったり、地域の人とのふれあいを通して、暮らしや文化に触れることができます。また、被災地を歩き自然の脅威と厳しさの両面を感じることができます。

みちのく潮風トレイルでは、拠点施設「名取トレイルセンター」と沿線サテライト施設と呼ばれる▼種差海岸インフォメーションセンター（八戸市）▼北山崎ビジターセンター（宮古市）▼淨土ヶ浜ビジターセンター（大船渡市）▼南三陸・海のビジターセンター（南三陸町）ーの5施設が連携して、イベントなどの情報発信や歩く人のサポートを行っています。北山崎ビジターセンターでは、久慈市から田野畠村までのイベントや通行止めなどの情報を集め各施設と共有したり、トレイルマップの配布など、みちのく潮風トレイルを盛り上げています。

## トレイルの情報を発信 トレイルの情報発信



沿岸サテライト施設の北山崎ビジターセンター

## みちのく潮風トレイル Michinoku Coastal Trail

詳しい情報は公式ウェブサイト

みちのく潮風トレイル

検索

### マップを取り寄せる

みちのく潮風トレイルには、標識が十分に整備されていないところもあります。トレイルマップの情報を元に旅の計画を考えましょう。マップは北山崎ビジターセンターで入手できます。



### 自分にあったルートを選ぶ

自分の体力や経験・歩く距離・高低差を考慮して、どのマップを取り寄せるかを決めます。トレイルを歩いた経験が少ない人は、高低差の少ないルートや距離の短いルートを日帰りで歩くのがおすすめです。

### 行き先を決める

みちのく潮風トレイルの公式ウェブサイトや観光情報などを調べ、行きたいスポットや歩いてみたいルートを探しましょう。名所を通るルートは、モデルコースになっている場合もあります。

## トレイルの歩き方

# 海・山・里— さまざまな魅力を感じられる 田野畠村ルート

歴史や自然を間近に―  
さまざまな魅力を感じられる



## Interview



### 浜辺で感じる潮風が、最高の瞬間――

私は、体験村・たのはたでガイドをしています。みちのく潮風トレールには、コース選定から携わりました。環境省の職員と昔使われていた道などを探しました。

みちのく潮風トレールの魅力は、コース内に山もあり、海もあり自然を間近に感じられること。山道

を歩いて、海辺が近づき感じる潮風、潮の香りが疲れを忘れさせてくれる、最高の瞬間です。

田野畠コースは、遊歩道や階段などがきれいに整備されていて初心者でも歩きやすいコースになっています。皆さん一緒にみちのく潮風トレールを歩きましょう。

トレッキングガイド  
斎藤 修さん (69)

### 子どもたちに地域を伝える みちのく潮風トレール

みちのく潮風トレールは、子どもたちに地域の歴史や魅力を伝えることにも活用されています。昨年7月、机地区の子供会では、「弁天崎灯台トレッキング」を開催。体験村・たのはたのガイドか

### 時間や体力に合わせて 村の魅力を探すトレールへ

8月には、浜岩泉地区の子供会が、鵜の巣断崖を出発し真木沢浜を通り、切牛地区公民館「望洋館」までウォーキングを行いました。どちらも地域の歴史や魅力を教えたいという保護者らの思いから行われたものです。

◆トレッキングガイドの申し込み・問い合わせ先：体験村・たのはたネットワーク（☎37-1211）

では、体験プログラム「トレッキングガイド」を行っています。北山崎周辺の平たんなコースや、トネルを歩くコース、みちのく潮風トレールを体力や時間に合わせて、地域住民がガイドします。皆さんも「みちのく潮風トレール」を歩いて、村の新たな魅力を発見してみませんか。



弁天崎灯台でガイドから机地区の歴史を学ぶ



鵜の巣断崖から真木沢浜への遊歩道を親子で歩く